

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
21110	心理学 Psychology	中島 卓裕		共通	2	選択	2後期

科目の概要

日常に関わる人たちの心の働きを知ることは必要不可欠です。そのため本講義では、人間の多様性を理解し、さまざまな場面のなかでの自我意識や人間関係を構築できる思考や、人間関係のトラブルやストレス対応方法・レジリエンス能力を養成します。そして、自己と他者のことについて理解を深めることで、今後、組織や社会に貢献できる人材育成を目指します。①心理学の基礎知識により心の働き機能を知る②自分（感情やモチベーションなど）を知る③他者や組織のことを知り、人間関係の構築について理解する。④働くということ（援助要請力）についてさまざまな心理学の分野から検討します。内容はみなさんの様子を見て進めますので、変更はあります。

学修内容	到達目標
① 心理学の歴史や応用などについて知る。 ② 人間の心理に関する基礎的事項について学ぶ。 ③ 幼少期から青年期まで心の変化と要因について学ぶ。 ④ 多様な場面（仕事面や家族面など）での人間関係を築く力を知る。 ⑤ カウンセリング理論および技法について学ぶ。	① 心理学の歴史や応用などについて説明することができる。 ② 人間の心理に関する基礎的事項を説明することができる。 ③ 幼少期から青年期まで心の変化と要因について説明することができる。 ④ 多様な場面（仕事面や家族面など）での人間関係を築く力を身に着ける。 ⑤ カウンセリング理論および技法を説明することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	興味を持つ問題に対して、調べ学習等の自発的な学習を行うことができる。
	働きかけ力	他者に頼むこと、また他者と交渉し、協力・提携を持ち掛ける。
	実行力	事例検討、グループ討議等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	普段の生活体験を客観的に捉える力と常に問題意識をもつことができる。
	計画力	常に期限内に課題を完成させる習慣を身につけることができる。
	創造力	オリジナリティな思考（発想）をもち、客観的な事例を多角的な説明ができる。
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすく伝えることができる。また、グループ討議の結果をクラス全体に分かりやすく発表することができる。
	傾聴力	発表者の意見を自分の立場に置き換え、発表者の意図を汲み取りながら聴くことができる。
	柔軟性	異なる意見や価値観を理解や対応することができる。
	状況把握力	グループ討議などの課題をメンバーと共有でき、現場状態を把握し、円滑に進める。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	ストレスに対応する方法を知っている。

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。毎回授業内容のプリントを適宜配布する。  
 参考文献：『心理学理論と心理的支援』・弘文堂・2008年；福祉臨床シリーズ編集委員会編『よくわかる臨床心理学 [改訂新版]』・ミネルヴァ書房・2009年；下山晴彦（著）

他科目との関連、資格との関連

ピアヘルパーと健康管理士一般指導員

学修上の助言	受講生とのルール
心理学の基礎知識を習得しながら、積極的に自分の現実生活体験を理解することを念頭において授業に参加してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業は集中して聞き、疑問点、質問がある場合は積極的に質問すること。</li> <li>6回以上の欠席は0判定となる。</li> <li>30分以上の遅刻は、2回で1回の欠席となる。</li> <li>授業態度が悪い場合（居眠り、私語、周囲に迷惑をかける行為等）はマイナス扱いとすることがある。</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		学修内容①～③が理解できているかどうかについて、基本的な定義、概念、用語の理解等を問うテーマを出題し、評価する。		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		40	①		✓	
					②		✓	
					③		✓	
					④			
					⑤			
		レポート		50	①			学修内容④～⑤が理解や応用できているかどうかについて、テーマを出題し、評価する。
					②			
					③			
					④		✓	
					⑤		✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①		①（規則性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 ②（主体性）興味を持つ問題に対して、調べ学習等の自発的な学習を行うことができる。 ③（実行力）事例検討、グループ討議等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる。 ④（課題発見力）普段の生活体験を客観的に捉える力と常に問題意識をもつことができる。 ⑤（創造力）オリジナリティな思考（発想）をもち、客観的な事例を多角的な説明ができる。 ⑥（発信力）聞き手にわかりやすく伝えることができる。また、グループ討議の結果をクラス全体に分かりやすく発表することができる。 ⑦（傾聴力）発表者の意見を自分の立場に置き換え、発表者の意図を汲み取りながら聴くことができる。			
			②					
			③					
			④					
			⑤					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①		✓		
				②		✓		
				③		✓		
				④		✓		
				⑤		✓		
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S：Aの到達レベルに加え、社会人基礎力についても完璧に習得なされている。</p> <p>A：筆記試験、社会人基礎力、その他（課題）の評価方法において、満遍なく習得なされており、期待され得る力が発揮できる。</p>	<p>B：筆記試験、社会人基礎力、その他（課題）の3つの評価方法において、満遍なくではないが、基本的な習得がなされ、2つの評価方法においてある程度の力が発揮できる。</p> <p>C：2つの評価方法において、最低限の習得がなされ、1つの評価方法において多少の力が発揮できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 心理学の応用と臨床心理の心得 心理学全般の概念について学ぶ	講義 ワーク グループディスカッション 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	心理学は様々な領域での応用について把握できる。日本の心理学学習システムを知る。	復習：毎回授業内容について課題を提示する。(提出) 課題：心理学と臨床心理について	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	心理学の歴史と各領域の連携について学ぶ	講義 ワーク グループディスカッション 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	心理学の歴史や特徴について理解することが出来る。	予習：毎回提示した課題について各自参考文献を読み込む。 復習：毎回授業内容について課題を提示する。(提出) 課題：心理学の歴史について	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	性格とパーソナリティについて学ぶ	講義 ワーク グループディスカッション 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	個人の性格やパーソナリティについて理解することが出来る。	予習：毎回提示した課題について各自参考文献を読み込む。 復習：毎回授業内容について課題を提示する。(提出) 課題：パーソナリティの類型理論について	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	感覚・知覚・記憶・動機づけの基礎概念について学ぶ	講義 ワーク グループディスカッション 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	基礎心理学の様々な概念について理解することが出来る。	予習：毎回提示した課題について各自参考文献を読み込む。 復習：毎回授業内容について課題を提示する。(提出) 課題：「情動」と「気分」について	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	発達心理学① 発達理論、出産前後心理臨床、胎児期について学ぶ	講義 ワーク グループディスカッション 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	妊娠や出産うつと発達障害について理解することが出来る。	予習：毎回提示した課題について各自参考文献を読み込む。 復習：毎回授業内容について課題を提示する。(提出) 課題：胎児の発育について	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	発達心理学② 乳児期、児童期、青年期、成年期、老年期について学ぶ	講義 ワーク グループディスカッション 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	人の発達の段階について理解することが出来る。	予習：毎回提示した課題について各自参考文献を読み込む。 復習：毎回授業内容について課題を提示する。(提出) 課題：青年期の「心理的離乳」について	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	社会心理学の知識について学ぶ	講義 ワーク グループディスカッション 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	社会心理学全般について理解することが出来る。	予習：毎回提示した課題について各自参考文献を読み込む。 復習：毎回授業内容について課題を提示する。(提出) 課題：「衡平理論」について	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	産業心理学臨床の知識について学ぶ	講義 ワーク グループディスカッション 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	個人と職場・組織を支援する臨床心理の関係を理解することが出来る。	予習：毎回提示した課題について各自参考文献を読み込む。 復習：毎回授業内容について課題を提示する。(提出) 課題：「キャリア発達」の特徴について	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	精神医保健学の知識について学ぶ	講義 ワーク グループディスカッション 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	さまざまな精神疾患について理解することが出来る。	予習：毎回提示した課題について各自参考文献を読み込む。 復習：毎回授業内容について課題を提示する。(提出) 課題：抑うつ症状のレベルについて	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	臨床心理学・心理検査について学ぶ	講義 ワーク グループディスカッション 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	心理検査について理解することが出来る。	予習：毎回提示した課題について各自参考文献を読み込む。 復習：毎回授業内容について課題を提示する。(提出) 課題：投影法の特徴について	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	臨床心理療法・一般的に知られる心理療法について学ぶ	講義 ワーク グループディスカッション 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	精神分析、認知行動療法、家族療法などについて理解することが出来る。	予習：毎回提示した課題について各自参考文献を読み込む。 復習：毎回授業内容について課題を提示する。(提出) 課題：精神分析療法の特徴について	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	臨床心理療法・日本で生まれた心理療法について学ぶ	講義 ワーク グループディスカッション 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	内観療法・森田療法などについて理解することが出来る。	予習：毎回提示した課題について各自参考文献を読み込む。 復習：毎回授業内容について課題を提示する。(提出) 課題：内観療法と森田療法の特徴について	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	臨床心理療法・ポストモダン理論による様々な心理療法について学ぶ	講義 ワーク グループディスカッション 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	ナラティブセラピー・アートセラピー・箱庭療法などの内容について理解することが出来る。	予習：毎回提示した課題について各自参考文献を読み込む。 復習：毎回授業内容について課題を提示する。(提出) 課題：箱庭療法の特徴について	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	臨床心理学・心理危機の対応、自殺予防の知識について学ぶ	講義 ワーク グループディスカッション 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	心理危機や自殺予防について理解することが出来る。	予習：毎回提示した課題について各自参考文献を読み込む。 復習：毎回授業内容について課題を提示する。(提出) 課題：自殺予防のポイントについて	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	全体の振り返りとまとめ 小テスト	講義 グループ討議 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	まとめと小テスト 質問回答 小テストをきちんと回答する。	予習：本授業の配布プリントを各自読み込む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力